

コモンズ Commons

コモンズとは…労働者農民市民が協働して、国家と私を超えた自治と生産の共同の場を、共につくり合うこと



緊急告知

時代を動かす風となれ!! 「山城ひろじ勝手連」結成される

★今夏、闘われる参議院選挙に向けて、「沖縄を、日本を戦場にするな」と、沖縄の闘士・山城ひろじさんが、社民党（比例区）から急きよ立候することを決意し、それを知った山城さんをよく知る人達が声をかけあい、断固応援しようと「山城ひろじ勝手連」を立ち上げました。5月1日（木）15時～参議院会館にて結成準備会を持ち、闘いへの始動を始めました。

来る6月4日（水）18：00～山城ひろじ勝手連の発足の集いを持つことになりました。

5月27日（火）18：00～「文京区民センター3A」（地下鉄三田線春日）にて、「共闘デーブル」「私たちが実現を望む政策はこれだ！」という集会で、山城ひろじさんも発言を予定しています。

非常に厳しい選挙戦だと思いますが、「山城ひろじここにあり！」の声を全国に届けようではありませんか。（詳細次号）



食料を求めて鍋を差し出すガザの子供たち

2025.5.10 第192号

- 発行所／コモンズ
- 編集機関紙局／東京都中野区新井2-7-12-25号
- コモンズ政策研究機構内
- 電話:03-5356-6723
- 編集／革命21
- The Communist Association for Revolution Movement 21
- 郵送購読料／1部500円 半年2500円(1年5000円)
- 郵便振替口座／00100-5-391171(コモンズ政策研究機構)
- ウェブサイト: <http://comonz21.jp/>
- Eメール: rev@com21.jp

イスラエルはガザ虐殺をやめろ！

直ちに人道支援を入れ、即時・恒久的停戦を急げ

トランプ政権発足100日 問われる日本の対米追従政治からの脱却

トランプ政権発足後100日がたった。世界各国へ高関税をぶっかけ、パナマ運河の「奪取」、グリーンランドやガザの「所有」など他国の主権、パレスチナ人民の自決権・人権を平然と侵害するトランプ政権の政策は、世界から強い批判を浴び、米国の衰退と瓦解、孤立を浮き彫りにしている。米国内でもトランプ政権の強権的政治に各地で市民の抗議集会や、サンダース上院議員の「99%のための政府」への運動などが拡がっている。日本国内でも、第2次大戦後の世界秩序の破壊と大転換を意味するトランプ政権登場を機に世論に変化が見え始めている。最近の世論調査によれば、対米関係について「なるべく自立した方がよい」（朝日）4月27日付が68%となつた。米国の顔色をうかがい追従する政治からの脱却が求められている。こうした中での緊急の問題は、トランプ政権の擁護と支援を後ろ盾にしたイスラエルのパレスチナ自治区・ガザ住民への戦闘攻撃・虐殺が止まらないことだ。特にイスラエルは3月初め以来、ガザ地区への人道援助物資の搬入を全面的に阻止しており、ガザ住民は生きるために不可欠な食料・水を奪われ、人道の大惨事の事態が迫っている。ガザ住民に飢餓を強いる行為は絶対に許してはならない。（閲連4面）

イスラエル政府が3月2日、パレスチナ自治区分離住民230万人への物資搬入を止め、2カ月間、世界食糧計画（WFP）は食料の備蓄は底をつけたと発表。

イスラエル政府は、イスラエルNGOの「自由船団」は2日、人道物資を載せてパレスチナ・ガザ地区に向かう船が、マルタ沖の国際水域で無人機によって爆撃を受けたと発表し、イスラエル軍の仕業だとその映像を公開した。

ガザ市民は、けが人・病

事務所（OCHA）は「テ

オ会見で、「水の入手がほぼ不可能になっている。給水車が到着したばかりなのに、水を巡って殺し合いが繰り広げられている」と窮状を訴えた。

イスラエル政府は、イスラエルのネタニヤフ首相は5月5日、パレスチナ・ガザ地区で、軍事制圧した地域に軍の駐留を継続し、自衛区封鎖を解除し、基本的な物資を搬入できるようにしなければならない」とXで訴えた。

また国連パレスチナ救済事業機関のラザリニ事務局長も同日、「イスラエルは封鎖を解除し、基本的な物資を搬入できるようにしなければならない」とXで訴えた。

現在のこの悲劇的事態

は、3月18日にイスラエル軍が約2カ月続いた停戦を

破り、攻撃を再開したこと

に由来する。

イスラエル軍はすでにガ

ザ地区の約3分の1を制圧

し、住民を地区内の別の

一帯に移動させてい

る。

新たな方針

はこれを一層進める計

画としている。

イスラエ

ル政府内の極

右のスマト

リッチ財務相は

「われわれはついにガ

ザを征服する。われわれはもはや『占領』という言葉を恐れない」と述べている。

この軍事作戦計画につい

て、ハク国連事務総長副報道官は5日の国連本部での記者会見で、グテレス事務

総長の見解として「この計

画が必然的に無数の民間人

が殺害され、ガザ破壊につ

ながる。即ちかつ恒久的停戦を求める」と語った。

国連人道支援チームとの

作戦の拡大計画を表明し

た。

イスラエル軍はすでにガ

ザ地区の約3分の1を制圧

し、住民を地区内の別の

一帯に移動させてい

る。

新たな方針

はこれを一層進める計

画としている。

イスラエ

ル政府内の極

右のスマト

リッチ財務相は

「われわれはついにガ

ザを征服する。われわれはもはや『占領』という言葉を恐れない」と述べている。

この軍事作戦計画につい

て、ハク国連事務総長副報

道官は5日の国連本部での

記者会見で、グテレス事務

総長の見解として「この計

画が必然的に無数の民間人

が殺害され、ガザ破壊につ

ながる。即ちかつ恒久的停

戦を求める」と語った。

国連人道支援チームとの

作戦の拡大計画を表明し

た。

イスラエル軍はすでにガ

ザ地区の約3分の1を制圧

し、住民を地区内の別の

一帯に移動させてい

る。

新たな方針

はこれを一層進める計

画としている。

イスラエ

ル政府内の極

右のスマト

リッチ財務相は

「われわれはついにガ

ザを征服する。われわれはもはや『占領』という言葉を恐れない」と述べている。

この軍事作戦計画につい

て、ハク国連事務総長副報

道官は5日の国連本部での

記者会見で、グテレス事務

総長の見解として「この計

画が必然的に無数の民間人

が殺害され、ガザ破壊につ

ながる。即ちかつ恒久的停

戦を求める」と語った。

国連人道支援チームとの

作戦の拡大計画を表明し

た。

イスラエル軍はすでにガ

ザ地区の約3分の1を制圧

し、住民を地区内の別の

一帯に移動させてい

る。

新たな方針

はこれを一層進める計

画としている。

イスラエ

ル政府内の極

右のスマト

リッチ財務相は

「われわれはついにガ

ザを征服する。われわれはもはや『占領』という言葉を恐れない」と述べている。

この軍事作戦計画につい

て、ハク国連事務総長副報

道官は5日の国連本部での

記者会見で、グテレス事務

総長の見解として「この計

画が必然的に無数の民間人

が殺害され、ガザ破壊につ

ながる。即ちかつ恒久的停

戦を求める」と語った。

国連人道支援チームとの

作戦の拡大計画を表明し

た。

イスラエル軍はすでにガ

ザ地区の約3分の1を制圧

し、住民を地区内の別の

一帯に移動させてい

る。

新たな方針

はこれを一層進める計

画としている。

イスラエ

ル政府内の極

右のスマト

リッチ財務相は

「われわれはついにガ

ザを征服する。われわれはもはや『占領』という言葉を恐れない」と述べている。

この軍事作戦計画につい

て、ハク国連事務総長副報

道官は5日の国連本部での

記者会見で、グテレス事務

総長の見解として「この計

画が必然的に無数の民間人

が殺害され、ガザ破壊につ



都市コモンズを生きる【連載①】

齊藤日出治
(大阪労働学校・アソシエ学長)

〔編集部より〕 関西生コンの労働裁判で、労働側の完全無罪という画期的な判決が出た(2月26日・京都市地裁における京都3事件の判決)。わたしたちはこの判決を労働運動の勝利として受け止めるだけでなく、ポスト資本主義の社会形成に向けた道を拓く社会闘争の活路として受け止めざる必要がある。関西生コンの労働運動は、企業間・産業間にまたがつて労働者・経営者が協議する社会を創造し、都市コモンズを創造していく闘いである。それは、市場と国家の外に社会コモンズを創出しようとする闘いであり、そこにはポスト資本主義の社会像が具体的に息づいている。労働運動を都市コモンズの創造運動として位置づける論考をここに紹介して、ポスト資本主義に向けた社会変革の構想をめぐる議論を深化させていく契機としている。今号より3回に分け、その論考をお伝えする。※注一本稿は「季報唯物論研究」第170号(2025年2月)「コモンズの理論と実践」特集に掲載されたものからの転載である。

1. コモンズ・ケアとしての労働運動—階級闘争の都市的次元の出現

はじめに

市民的交通形態(市民社会)から 都市の生政治的交通形態へ

都市は近代世界の新たな地平を開示す
る。

H・ルフェーヴル(1901—1991
年)[1968][1970]は半世紀以
上も前に、都市論の諸研究において市民
社会と政治的国家によって存立する近代
世界のうち、「この両者に還元しない、
都市という独自の位相があることを検出
した。

二世紀のことごとく、この都市とい
う位相は、市民社会と国家の組織化および
資本蓄積の動態的展開の主要な舞台とな
る。同時に、その深層にある生命の網の
目つなぎこそ、そのつながりを組織する

政治の次元を浮上させることになった。
ひとつの協働と連帯の組織化が、物
質的生産諸関係の次元にも、政治的国家
の次元にも還元されずに、都市的次元に
おいて展開する。

この協同と連帯は、市場という物象の
社会的連関の深層にある生政治的次元を
明るみに出し、その次元での交通形態の
組織化という課題を提示する。

本稿は、都市の生政治的次元における
協同と連帯の組織化のうちに二世紀資
本主義がはじまっている破局的危機の
活動を見出そうとする一試論である。

工場占拠から都市反乱へ

階級闘争とは、剩余価値の
生産と領有をめぐる資本と
労働との闘争である。剩余価
値は資本の循環運動を通じ
て反復的に再生産されるか
ら、直接的生産過程だけでなく、
資本の流通過程の消費過
程においても階級闘争は展
開される。

一〇世紀以降、階級闘争は
直接生産過程を越えて、その
都市的次元を固有の舞台と

総闘争の主戦場は、直接生産
の反乱へと引き継がれる。

それは、水・大気・森林・
生産の深層にある自然の物

質代謝や命体の生命活動

であることが反資本主義的

闘争の高揚を通して浮き彫

りにされていく。

ロ・ハーヴェイは、都市の

労働者を「日常生活の再生産

に寄与するすべての者」と定

義し、「ケア提供者と教師、下

水道工事、地下鉄の修理工、配管

工と電気工、足場組立て工、

レン作業員、病院労働者、

トラックやバスやタクシー

の運転手、レストラン労働者

と娯楽施設従事者、銀行員と

市職員」(D・ハーヴェイ[2

012]二三六頁)といったた

めに、労働者を例示的

に列挙する。

ボリビアで水道事業の民営

化を請け負った米国の大手

企業による水道料金の大幅

引き上げに憤ったコチャバ

ンバ民衆の水戦争、スペイ

ン・バルセロナの広場占拠

など、社会的連帶経済の運

動の高揚、中東のアラブの春

の都市民衆蜂起など、がそれ

である。

資本の蓄積過程は、資本に

よる都市空間の組織化を決

定的手段としている。

銀行や開発業者が土地を

買収し、不動産の投機的取引

によって都市開発を推進す

る。

そして、この都市的次元に

おける反資本主義的闘争の

高揚が、労働・労働運動の新

たな地平を浮かび上がらせ

る。

都市労働者の労働は、産業

過程に統合し、労働者の消費

重要な契機とするように

なったからである。

郊外都市の建設、上下水道

や道路や公共交通網などの

社会生活の基盤整備、都市型

生活様式の定着とともに、階

級闘争の主戦場は、直接生産

の反乱へと引き継がれる。

それは、水・大気・森林・
生産の深層にある自然の物

質代謝や命体の生命活動

であることが反資本主義的

闘争の高揚を通して浮き彫

りにされていく。

ロ・ハーヴェイは、都市の

労働者を「日常生活の再生産

に寄与するすべての者」と定

義し、「ケア提供者と教師、下

水道工事、地下鉄の修理工、配管

工と電気工、足場組立て工、

レン作業員、病院労働者、

トラックやバスやタクシー

の運転手、レストラン労働者

と娯楽施設従事者、銀行員と

市職員」(D・ハーヴェイ[2

012]二三六頁)としたた

めに、労働者を例示的

に列挙する。

ボリビアで水道事業の民営

化を請け負った米国の大手

企業による水道料金の大幅

引き上げに憤ったコチャバ

ンバ民衆の水戦争、スペイ

ン・バルセロナの広場占拠

など、社会的連帶経済の運

動の高揚、中東のアラブの春

の都市民衆蜂起など、がそれ

である。

資本の蓄積過程は、資本に

よる都市空間の組織化を決

定的手段としている。

銀行や開発業者が土地を

買収し、不動産の投機的取引

によって都市開発を推進す

る。

そして、この都市的次元に

おける反資本主義的闘争の

高揚が、労働・労働運動の新

たな地平を浮かび上がらせ

る。

都市労働者の労働は、産業

過程に統合し、労働者の消費

重要な契機とするように

なったからである。

郊外都市の建設、上下水道

や道路や公共交通網などの

社会生活の基盤整備、都市型

生活様式の定着とともに、階

級闘争の主戦場は、直接生産

の反乱へと引き継がれる。

それは、水・大気・森林・
生産の深層にある自然の物

質代謝や命体の生命活動

であることが反資本主義的

闘争の高揚を通して浮き彫

りにされていく。

ロ・ハーヴェイは、都市の

労働者を「日常生活の再生産

に寄与するすべての者」と定

義し、「ケア提供者と教師、下

水道工事、地下鉄の修理工、配管

工と電気工、足場組立て工、

レン作業員、病院労働者、

トラックやバスやタクシー

の運転手、レストラン労働者

と娯楽施設従事者、銀行員と

市職員」(D・ハーヴェイ[2

012]二三六頁)としたた

めに、労働者を例示的

に列挙する。

ボリビアで水道事業の民営

化を請け負った米国の大手

企業による水道料金の大幅

引き上げに憤ったコチャバ

ンバ民衆の水戦争、スペイ

ン・バルセロナの広場占拠

など、社会的連帶経済の運

動の高揚、中東のアラブの春

の都市民衆蜂起など、がそれ

である。

資本の蓄積過程は、資本に

よる都市空間の組織化を決

定的手段としている。

銀行や開発業者が土地を

買収し、不動産の投機的取引

